

# 第45期 中間株主通信

2016年1月1日 ▶ 2016年6月30日



株主の皆様へ

## 商空間の創造を通じて 豊かな社会の実現に貢献します

ごあいさつ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第45期第2四半期累計期間(2016年1月1日から2016年6月30日まで)を終了いたしましたので、その概要をご報告いたします。

当社は新規顧客への取り組みや既存顧客への提案営業等を行い、受注確保に努めてまいりました。しかし、2016年4月に発生した熊本地震の影響により、物件の延期や中止、さらに主要顧客の新規出店・改装等の見直しなどがあり、前年同四半期に比べ売上高および利益は下回りました。

この結果、当第2四半期の売上高は244億96百万円(前年同四半期比0.5%減)、営業利益は15億82百万円(同4.1%減)、経常利益は15億81百万円(同4.1%減)、四半期純利益は8億94百万円(同15.2%減)となりました。

また、2016年度の中間配当につきましては、事業環境および配当政策等を勘案し、1株当たり25円とさせていただきます。

当社は、引き続き中期経営計画に掲げた「商業施設業界No.1と新たな市場の拡大」の達成を目指すとともに、商空間の創造を通じて豊かな社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 若林弘之  
代表取締役会長 加藤千寿夫

## 通期の見通し

### 業績予想の修正

2016年度通期(2016年1月1日～2016年12月31日)の業績予想につきましては、上期の業績を踏まえ、以下の通り修正いたしました。

#### 業績予想(修正前)

売上高	51,500百万円	前事業年度比	100.3%
営業利益	3,600百万円	前事業年度比	101.6%
経常利益	3,600百万円	前事業年度比	101.5%
当期純利益	2,270百万円	前事業年度比	101.9%



#### 業績予想(修正後)

売上高 (△1,400百万円)	50,100百万円	前事業年度比	97.5%
営業利益 (△100百万円)	3,500百万円	前事業年度比	98.7%
経常利益 (△100百万円)	3,500百万円	前事業年度比	98.7%
当期純利益(△170百万円)	2,100百万円	前事業年度比	94.3%

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後当社を取り巻く経営環境等により、異なる可能性があります。

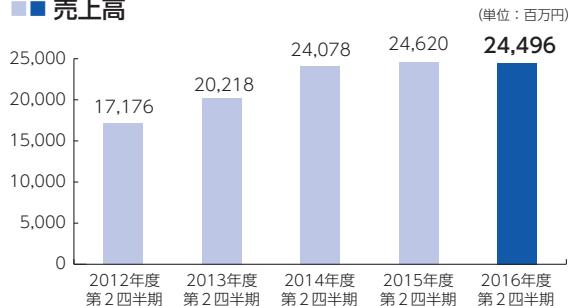
### 2016年度の配当予想

2016年度の配当金につきましては、内部留保の充実による経営基盤の強化を目指す一方、収益力の一層の向上と財務体質の強化を図り、安定配当を維持することを基本とし、株主の皆様へ利益還元を心掛けることを方針としております。この方針にしたがい、2016年度第2四半期の1株当たり配当金は25円とさせていただきます。なお、2016年度の期末配当金は1株当たり25円とさせていただきます。

年間配当金 **50**円  
(中間25円・期末25円)

## 業績の推移

### 売上高



### 経常利益

### 四半期純利益



### 総資産額

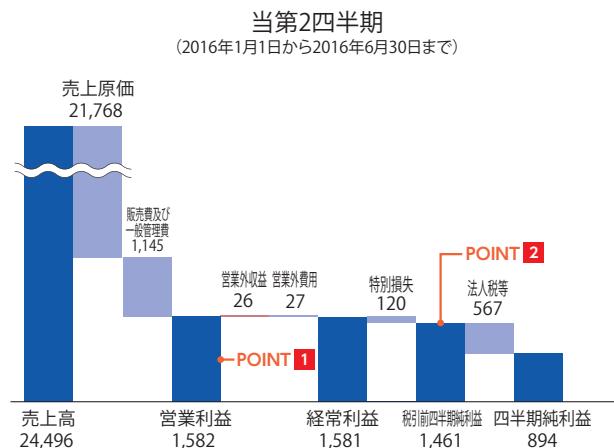
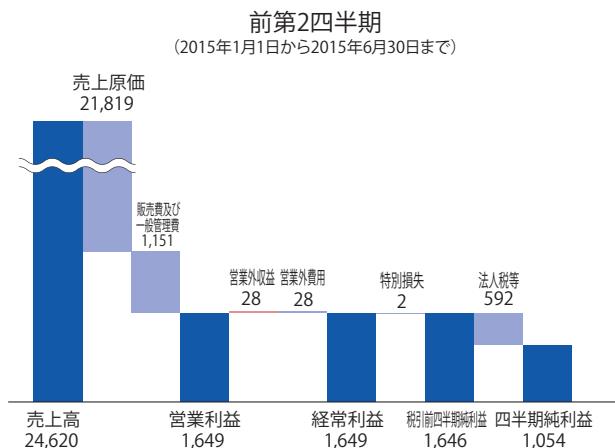
### 純資産額



# 財務データ

## 損益計算書より

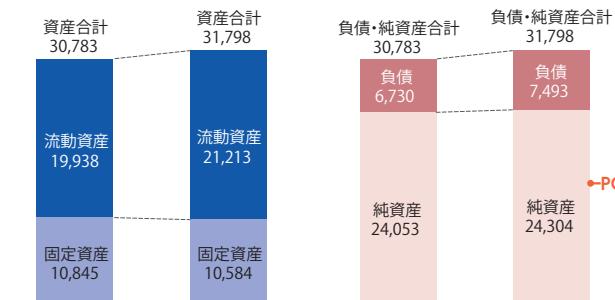
(単位:百万円)



## 貸借対照表より

(単位:百万円)

前事業年度 (2015年12月31日現在) 当第2四半期 (2016年6月30日現在) 前事業年度 (2015年12月31日現在) 当第2四半期 (2016年6月30日現在)



### POINT 1 営業利益

売上原価や販売費及び一般管理費の減少がありましたが、売上高の減少により、前年同期と比べ66百万円減少の15億82百万円となりました。

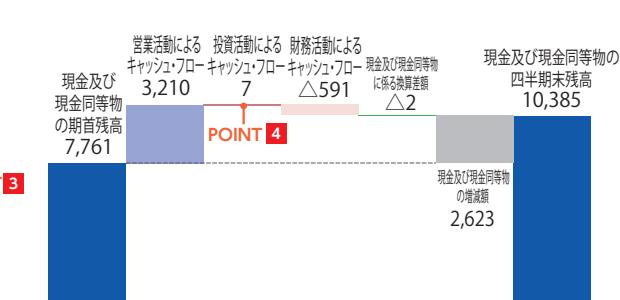
### POINT 2 税引前四半期純利益

投資有価証券評価損などによる特別損失の増加により、前年同期と比べ1億85百万円減少の14億61百万円となりました。

## キャッシュ・フロー計算書より

(単位:百万円)

当第2四半期  
(2016年1月1日から2016年6月30日まで)



### POINT 3 純資産

利益剰余金が3億円増加し、その他有価証券評価差額金が50百万円減少したことにより、前期末と比べ2億50百万円増加し243億4百万円となりました。

### POINT 4 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得により86百万円、定期預金の預入により1億49百万円を支出したものの、定期預金の払戻による収入が2億48百万円あったことにより、7百万円の収入(前年同期は6億22百万円の支出)となりました。

## PICK UP !

### 新規市場分野への取組

当社は中期経営計画の1つに「新規市場の拡大・開拓」を掲げておりますが、新規の市場分野であるホテル事業への実績として、新宿ワシントンホテル本館の取り組みをご紹介します。



新宿ワシントンホテル本館  
2016/4/1 OPEN  
クライアント：藤田観光株式会社様  
所在地：東京都新宿区

担当部署  
東京第1本部 営業5部  
商環境研究所(東京)クリエイティブ本部



### ビジネスマンやインバウンドのお客様に向けた安らぎと驚きの空間へ

本物件は、藤田観光株式会社様のブランドであるワシントンホテルの旗艦店、新宿ワシントンホテル本館客室の全1,279室21フロアと、3階レセプションフロアのリニューアル物件です。客室は、2014年7月から設計業務がスタートし、施工コンペにより当社が落札し受注いたしました。2015年春から工事がスタートし、フロアごとのさみだれ式にオープンするスケジュールで、約1年間にわたり工事を進めてきました。また、ホテルの顔となる3階レセプションフロアは設計施工として受注し、コンセプトをRELAX+AMAZING(安らぎと驚き)という意味の造語で「REMAZING」といたしました。ビジネスマンとインバウンドのお客様に対し、日本らしいディテールを取り入れた、非日常を感じさせるシンプルでコンテンポラリーな空間を実現いたしました。客室フロア、レセプションフロアともに、2016年4月にグランドオープンしたホテル事業での大型リニューアル物件です。

### 各種デザインアワード 参加報告

第50回日本サインデザイン賞（公益社団法人 日本サインデザイン協会主催）  
DSA日本空間デザイン賞2016（一般社団法人 日本空間デザイン協会主催）  
JCDデザインアワード2016（一般社団法人 日本商環境デザイン協会主催）

入 選：9件  
入 選：14件  
銀 賞：「奈良市総合観光案内所」  
ベスト100：「新宿ワシントンホテル本館」

## 実績紹介

2016年度第2四半期



総売上高

※円グラフの%は構成比を表示しております。

複合商業施設・総合スーパー



0.5%増

泉ヶ丘ひろば専門店街

2016/4/29 OPEN

クライアント：南海電気鉄道株式会社様

所在地：大阪府堺市



街開きから40年経つ施設の再生事業です。「街の再生を牽引する施設」を目標に取り組みました。施設の核となる「ちびっこ広場」では、地域の様々な世代の方々や、商店の人々とのつながりが生まれ、街から賑わいを発信しています。

食品スーパー・コンビニエンスストア POINT 1



13.7%減

Harves はびきの店

2016/5/28 OPEN

クライアント：株式会社近商ストア様

所在地：大阪府羽曳野市



こだわりの食を集めた食品専門店「Harves」のリニューアル物件です。郊外の住宅街という立地であることなどから、わざわざ通いたいお店となるように、こだわりや上質感が感じられる売場づくりを目指しました。

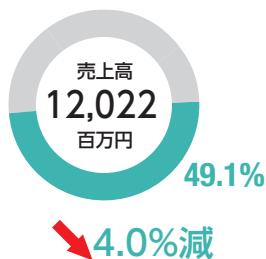
### POINT 1

食品スーパー・コンビニエンスストア分野では、コンビニエンスストアにおいては建築工事の受注は増加いたしました。食品スーパーにおいては、個人消費の低迷等による設備投資見直しの影響を受け、受注は減少いたしました。

### POINT 2

飲食店分野では、多様化する消費者ニーズに対応するための新規出店および業態転換による改装等により、受注が増加いたしました。

## 各種専門店



### GREGORY 原宿店

2016/4/21 OPEN

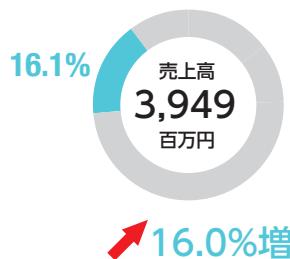
クライアント：サムソナイト・ジャパン株式会社様  
所在地：東京都渋谷区



バックパック専門ブランドの旗艦店です。都会の喧騒の中に浮かび上がるように、ファサードや店内壁面には、遠い山々の稜線を、高低差のある商品陳列用の柱は、木々の折り返り重なりを表現しています。

## 飲食店

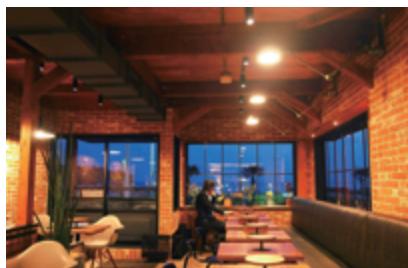
POINT 2



### Quiche Yoroizuka 江ノ島店

2016/4/21 OPEN

クライアント：株式会社ホットランド様  
所在地：神奈川県藤沢市



湘南片瀬海岸に建つ、キッシュとワインの店舗です。江ノ島の景勝地を望む大きな開口部が、開放的な雰囲気を演出します。レンガと古材の壁を基調に、モダンデザインのヴィンテージ家具が、豊潤なインテリア空間を演出しています。

## サービス等



### 若狭瓜割名水公園管理棟 名水の里

2016/4/10 OPEN

クライアント：福井県三方上中郡若狭町様  
所在地：福井県三方上中郡若狭町



官学連携の「若狭瓜割エコビレッジ構想」の一環で、名水百選に選ばれた瓜割の滝がある若狭瓜割名水公園の「名水の里」を改修しました。瓜型の桶や水泡の照明を配置し、全体で瓜割の水を表現しています。

# 会社概況 (2016年6月30日現在)

## 会社概要

- 商号 株式会社 スペース (SPACE CO., LTD.)
- 本社 東京都中央区日本橋人形町三丁目9番4号
- 設立 昭和47年10月5日
- 資本金 33億9,553万7,101円
- 従業員 931名 (取締役14名、子会社出向者8名を除く)
- 役員
 

代表取締役会長	加藤千寿夫	取締役	菊池 利夫※
代表取締役社長	若林 弘之	取締役	川村 修三※
代表取締役専務	林 不二夫	取締役(社外)	前川 弘美※
常務取締役	岡島 昇	取締役(社外)	和田 良子※
常務取締役	清水 康史	取締役(社外)	田口 聡志※
常務取締役	佐々木靖浩	執行役員	塚谷 光次
取締役	大藪由紀夫	執行役員	鈴木 孝雄
取締役	兼子 正則	執行役員	森田 昭一
取締役	林 顕	執行役員	片岡 純二
		執行役員	武内 浩之

(注) ※の者は、監査等委員である取締役であります。

当社ウェブサイトのご紹介

最新の実績紹介のほか、ニュースリリースやIR情報など、当社の事業活動についての情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

http://www.space-tokyo.co.jp/

## 株主メモ

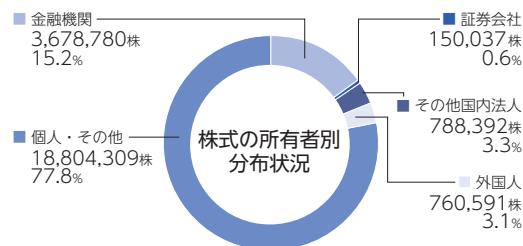
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主確定基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 その他必要があるときは、取締役会の決議により、あらかじめ公告した一定の日
単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞

## 株式の状況

- 発行可能株式総数 40,669,200株
- 発行済株式の総数 21,970,147株  
(自己株式数2,211,962株を除く)
- 株主数 4,502名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
スペース従業員持株会	2,667,443	12.1
加藤千寿夫	1,598,300	7.3
スペース取引先持株会	1,205,740	5.5
若林 弘之	1,022,200	4.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	620,040	2.8
高津 伸生	579,180	2.6
若林 幸子	565,200	2.6
後藤 廣高	516,000	2.3
高津久仁枝	507,303	2.3
GOLDMAN, SACHS&CO, REG	453,200	2.1

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。



株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

